

インタビュー

# バスケットが好き その気持が 頑張る原動力

バスケットボール選手として小柄ながら持ち前のスピードを生かし、リオデジャネイロ五輪の日本代表候補に選ばれている町田瑠唯さん。旭川に帰省した際に、これまでの歩みや競技の魅力を聞きました。

## 高身長選手の中心 特技を磨いてコートで躍動

町田さんがバスケットボールを始めたのは、西御料地小学校2年生のとき。「練習は厳しかったですが、仲間と助け合ったり、思い合ったりしながらプレーするのが楽しくて、辞めようとは思いませんでした。チームが強くなると、勝つ楽しさも加わりましたね」と町田さん。練習に励み、小学6年生のときには全道2位になりました。

仲間と共に進学した緑が丘中学校では、全国大会に出場。卒業後は、札幌山の手高校の体育コースに進学しました。高身長選手が揃う中、町田さんの身長は162cm。「私の武器はスピードとパス。それをさらに磨くため、朝練をしたり、寮の近くの坂道を駆け上がったたりして鍛えました」と話します。高校3年生のときには、高校総体、国体、高校選抜を制し、3冠を達成しました。

## 日本代表を目指して 練習に取り組み日々

高校卒業後は、実業団チームに入団。めきめきと頭角を現し、昨シーズンは主将を務めるまで

「日本代表に  
選ばれるよう、  
頑張ります」

「背が低くても諦めることはありません。バスケットが好きなら、自分の得意な部分を見つけて楽しんでやってほしいです」と故郷の子供たちを応援しています。

「背が低くても諦めることはありません。バスケットが好きなら、自分の得意な部分を見つけて楽しんでやってほしいです」と故郷の子供たちを応援しています。



バスケットボール選手

まちだ るい  
**町田瑠唯さん**

平成5年生まれ。バスケットボール女子日本リーグ（Wリーグ）の富士通レッドウェーブに所属。ポジションはポイントガード

写真提供：NANO Association